

泉石の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

空の、木と草の、空の、

泉石

瑣春駐防係康熙五十三年設立

原額共兵一百九十名滿洲領催九名披甲一百七十一名

乾隆十七年增添滿洲披甲六十名

二十五年增添兵二百名內滿洲領催名披甲一百九十二名

共增添兵二百六十名內滿洲領催八名披甲二百五十二名

實在共兵四百五十三名內滿洲領催二十七名披甲四百二十三名

Handwritten Japanese text, likely a transcription of the printed text above, written in vertical columns from right to left.

表

△ 花之気と香之気、香は花の香より生ずるなり

△ 花之気と香之気、香は花の香より生ずるなり

香は花の香より生ずるなり

△ 花之気と香之気、香は花の香より生ずるなり

香は花の香より生ずるなり

△ 花之気と香之気、香は花の香より生ずるなり

香は花の香より生ずるなり

△ 花之気と香之気、香は花の香より生ずるなり

△ 花之気と香之気、香は花の香より生ずるなり

香は花の香より生ずるなり

△ 花之気と香之気、香は花の香より生ずるなり

香は花の香より生ずるなり

香は花の香より生ずるなり

香は花の香より生ずるなり

我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て

我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て

我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て

我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て
我と我を以て我と我を以て

Handwritten text in vertical columns, likely a musical score or a list of characters, written in a cursive style. The text is arranged in approximately 10 columns, reading from right to left. The characters are highly stylized and fluid, characteristic of traditional Chinese calligraphy. The first column on the right contains the characters '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'. The subsequent columns contain variations of these characters and other related forms, possibly representing a sequence of notes or a specific dialectal pronunciation.

草书书法作品，内容为《千字文》中的“一”字。全篇由一百个“一”字组成，排列成十列，每列十个字。每个“一”字都写得形态各异，有的长而舒展，有的短而紧凑，有的带有顿挫，有的则如行云流水，充分展示了草书“一笔一划”的精髓和书家的个人风格。